



平成22年度社会基盤整備の重点施策と推進方法

- 重点施策1 「まもる」 - 頻発する自然災害に対する安全・安心の確保
- 重点施策2 「つくる」 - 活力ある兵庫の基盤整備
- 重点施策3 「つかう」 - 生活の質を高める社会基盤の構築
- 推進方策 ~ 時代の変化に対応した社会基盤整備の推進方策 ~

淡路さわやか県土のご紹介

皆さん、こんにちは。私たち洲本土木事務所では、より安全で安心な淡路島をめざしてさまざまな土木事業を行っています。今回は、私たちが平成22年度において主に取り組んでいる土木事業について特集しました。
「淡路さわやか県土」では、淡路島の風景や豊かな自然、近代遺産などの風土資産の紹介を交えて、土木事業やまちづくりをお伝えさせていただいております。小紙が皆さんの「土木」そして「風土」に対するご理解の一助になれば幸いです。

平成22年度洲本土木事務所「社会基盤整備」の主な工事の一部を紹介します

重点施策2 合併後の新しいまちづくりの支援

① 県道の整備～三木田バイパス(県道洲本五色線)～洲本市中川原町三木田

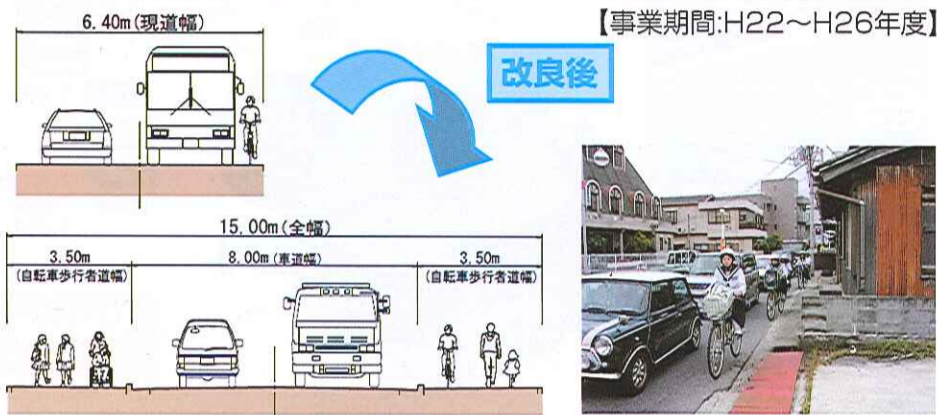
洲本市中心部と旧五色町中心部を結ぶ県道洲本五色線は地域の生活を支える重要な道路です。また、この区間は小学校の通学路にもなっています。しかし、道幅が狭く見通しも悪いうえ、歩道もないことから、自動車の通行と通学児童の安全のためバイパス工事を行っています。【事業期間：H19～H25年度】



重点施策3 安全・安心な道路づくり

② 歩道の整備(県道福良江井岩屋線)

南あわじ市湊地区の県道福良江井岩屋線は、松帆小学校や御原中学校の通学路となっていますが歩道がなく、大型車等が通行する際、大変危険になっています。そこで、道幅を広げ、歩道を設置し、通学路と地域の安全と安心を確保します。【事業期間：H22～H26年度】



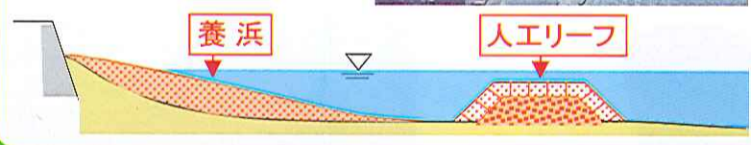
重点施策3 美しい海岸をまもる

★③ 海岸の侵食対策(慶野五色海岸)

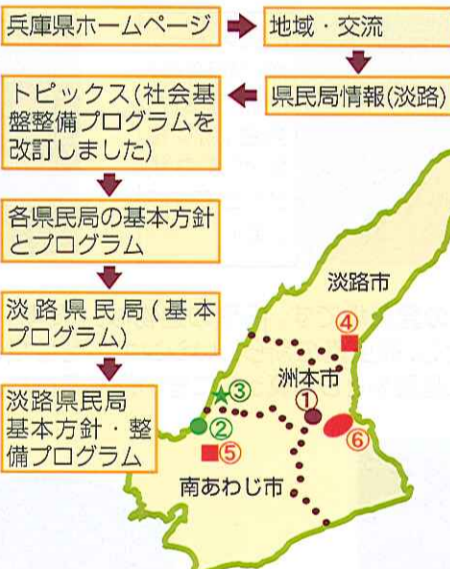
慶野五色海岸は瀬戸内海国立公園に位置しており、多くの県民が利用する海岸です。しかし、近年、波浪により海岸が著しく後退し、砂浜や松林が消える危機に立たされており、大きな波による人や家への被害も発生しています。そこで沖合に人工リーフ(自然のサンゴ礁をマネた構造物)の工事を行っています。【事業期間：H22～H25年度】

◎人工リーフの効果として

- (1) 砂浜の復元(養浜:ようひん)
- (2) 波が小さく静かになる
- (3) 人工リーフに生物が住み着く



H22年度「社会基盤整備」の取り組みで、今回紹介した工事は洲本土木事務所管内の一部であります。その他の工事箇所等については、「兵庫県ホームページ」に掲載されております。



重点施策1 水害を減らす

④ 床上浸水対策(志筑川水系)

淡路市志筑地区では、平成16年の台風23号による豪雨で市街地を中心に約40haが浸水し、床上浸水家屋143戸、床下浸水家屋131戸の被害を受けました。このような浸水被害を軽減するために、川底の掘削などを行い、流れやすくするとともに、志筑川中流から宝珠川へ放水路を掘ってつくる工事を行っています。【事業期間：H18～H24年度】



重点施策1 川の安全度を高めます

⑤ 排水機場の整備(入貫川排水機場)南あわじ市松帆

大雨が降ったときに、川から水があふれないようにするため排水機場(はいすいきじょう)を整備しています。①大雨が降ると、地面が河川の水位より低い地域では水があふれます。②このような地域において、ポンプで小さな川の水を大きな川へと流し水があふれないようにするのが排水機場の役割です。【事業期間：H21～H25年度】

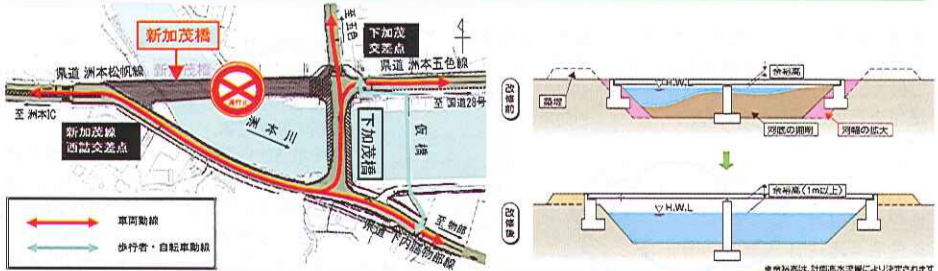


重点施策1 災害からの復旧と、安心して暮らせるまちづくり

⑥ 洲本川水系河川激甚災害対策特別緊急事業 洲本市/物部他

平成16年の台風23号により川の堤防や橋などが破壊され、洲本川流域では死者5名、床上・床下浸水家屋3,496戸の大きな被害を受けました。そこで、同規模の洪水が発生しても再び災害を受けないように洲本川と洲本川に合流する4つの河川について、総延長10kmの区間で川の流下能力を高める掘削工事や堤防を築いたり、橋や農業用の堰を新しくする工事を行っています。【事業期間：H16～H22年度】

新加茂橋・下加茂橋について
下加茂橋は、7月5日に供用開始し、同時に新加茂橋の工事に着手します。新加茂橋の工事期間中(平成22年7月5日～平成24年3月末)の通行については、大変ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。



洲本川激甚災害の進捗状況及び通行規制の詳細は、兵庫県HPの「洲本川改修だより」に掲載しています。
兵庫県 → 淡路県民局 → まちづくり・防災 → (淡路地域) 洲本川改修だより

福良港の観潮船乗り場の横に、
変わった形をした錆びた建物が現れました。
この建物は何？
皆さんの疑問にお答えします。

福良港津波防災ステーション

津波防災ステーションって？

この建物は兵庫県が南海・東南海地震に備えて整備を進めている「福良津波防災ステーション」です。よる津波の被害を最小限に抑える、4つの役割を担います。

- ①防 ぐ：福良港の水門や堤防の扉（陸開りっこう）を自動的に閉めて、津波が町の中に入り込むのを防ぎます。
- ②伝える：地震・津波等の警報が発令された場合、速やかに周辺の皆さんに放送でお知らせします。
- ③伝える：港周辺にいる皆さんの緊急避難場所となります。
- ④学 ぶ：建物内には防災学習室があり、津波について勉強したり、防災訓練の場として活用されます。

防災学習？

津波に対しては、津波を良く「知る」こと、津波から「身を守る」こと、津波に「備える」ことが大切です。防災学習室には、深い海での津波の早さはジェット機と同じなど、意外に知らない津波の情報や、身を守るために何をすれば良いか、どのように備えたらよいかわかりやすく展示し皆さんと一緒に考えて行きます。また、地域の方々の防災学習や防災訓練の場として活用されます。

地震・津波発生時の役割



平常時の役割—防災学習の拠点—

●津波について知る

●地域防災学習の拠点

津波による被害

奥尻島の津波被害

防災訓練

ハザードマップ
モニター

発生
メカニズム

勉強会

なぜ錆びたまなの？ ～錆で錆を征す～

防災ステーションの外壁は、コルテン鋼という錆をもって錆を征す特殊な鉄でできています。鉄に少し銅とかニッケル等の金属を混ぜると不思議な性質を持つものができます。最初は表面が赤錆で覆われます。赤錆は鉄の天敵で、普通の鉄ならボロボロになってしまいます。でもコルテン鋼は、時間が経つと細かいこげ茶色の錆に覆われます。焦げ茶の錆は内部の鉄の地金とくっついて、バリアーとなって、悪い赤錆から鉄を守り続けるのです。船でも橋でも赤錆から鉄を守るためペンキを塗りますね。海辺ではどんなペンキでも5年～10年に一度塗り替えなければなりません。でもコルテン鋼は、錆がペンキの変わりとなって、時々水洗いすれば大丈夫なんです。防災ステーションって、実は地球にやさしい建物なのです。

耐蝕性鋼

普通鋼

FeOOH

保護性さび層

地鉄

クラック

FeOOH

Fe₂O₃

FeOOH

地鉄

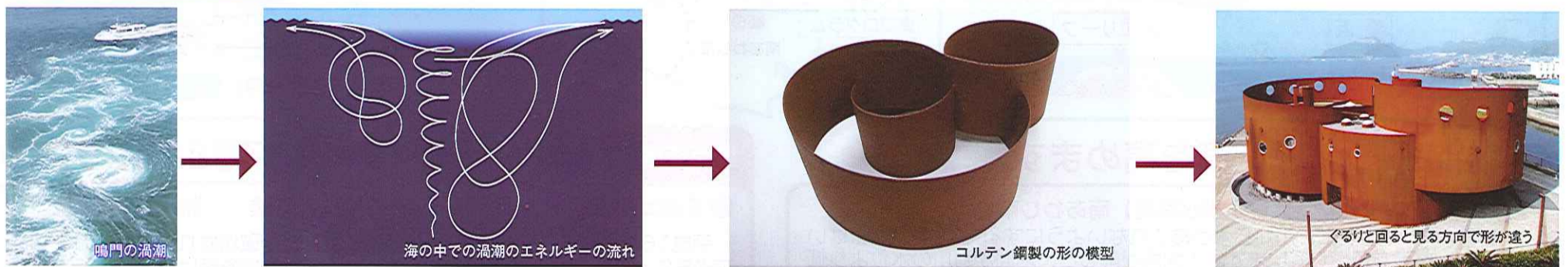
防災ステーション(新1年生)
今は赤錆が発生(所々に焦げ茶の錆びが出てきている)

屋外3年生の
コルテン
鋼全体が焦
げ茶の錆びに
覆われている

30年生の
コルテン
鋼錆びは
より細かく
黒っぽい。(時
間が経つと
もボロボロに
なっていない!)

変わった形の 秘密

福良港は、鳴門海峡の観潮船の発着場です。円形の建物は、「渦潮」のエネルギーの流れを建物としてイメージしたものです。そして、見る方向によって建物の姿が変化し、福良港の新しいシンボルを目指しています。そしてもう一つ、「変わった形」には、この建物が皆さんの記憶に残り、いざというときに避難場として真っ先に思い浮かんで欲しいという願いもあるのです。



福良に「来て」! 津波を「知って」! 津波に「備えて」!

フェニックス共済 加入ご案内

自然災害から「住まい」を守る「兵庫県住宅再建制度」

家財再建共済制度年額1,500円で最大50万円の給付※市町が発行する災証明書で床上浸水以上の被害認定の場合に限ります。※住宅再建共済制度と両方に加入すると割引があります。

地震だけでなく、台風や雷など全ての自然災害が対象だよ。

県内にお家を持っていれば誰でも入れるよ。分譲マンション、賃貸住宅オーナーも対象だよ。

住宅再建共済制度年額5,000円で、最大600万円の給付! ※市町が発行する災証明書で半壊以上の認定に限ります。

兵庫県住宅再建共済制度(フェニックス共済)は、阪神・淡路大震災で学んだ教訓「助け合い」の大切さを生かし、兵庫県が条例に基づき実施する信頼の制度です。平常時から資金を寄せ合い、災害発生時に被災した住宅の再建のために住宅所有者が相互に支え合う「住宅再建共済制度」と、早期の生活の再建を目指し県民が互いに助け合う「家財再建共済制度」により、自然災害への「備え」を充実させています。小さな掛け金(共済負担金)で確かな住まいの安心を手に入れませんか。皆さんもぜひご加入ください。

お問い合わせ先

兵庫県企画県民部防災企画局復興支援課
(公財)兵庫県住宅再建共済基金

Tel 078-362-4339 Fax 078-362-4459
Tel 078-362-9400 Fax 078-362-9405

わが家の耐震診断・耐震改修

平成21年度から、制度が拡充されました。
昭和56年5月以前に建てられた家にお住まいのかたへ

①「簡易耐震診断」を申し込んでください
市町が診断員を派遣します。
○木造戸建住宅の場合3,000円を負担していただきます(無料の市町もあります)。
○条件により対象とならない住宅があります。
【お問い合わせ先は、市役所・町役場の担当課まで】

②「耐震改修工事」を検討してください
県が計画策定と工事にかかる費用の一部を補助します。
(平成21年度から、工事に対する補助に最大20万円が加算しています)

①診断員が住宅の耐震性を評価

木造戸建住宅の場合	
評点 1.0未満	→ 危険 1.0以上
0.7未満	→ 0.7以上1.0未満
危険	やや危険

②-1耐震改修の計画策定

評点1.0以上となるように補強計画を策定	平成21年度から計画策定不要
一般型	部分改修型
住宅全体の工事	屋根・1階のみ工事

【お問い合わせ先 兵庫県庁建築指導課 078-3362-4340】



先人の日本地図

日本地図の歴史を調べると、日本最初の全国地図は、奈良時代の僧侶・行基が作ったとされる「行基図」とされていますが、「行基図」は測量によらないスケッチ図である。そこで、日本で初めて測量により精度の高い日本地図を作ったのが、「伊能忠敬」と記されています。

「伊能忠敬」とは、どういう人物か・・・1745年1月11日に現千葉県九十九里町に生まれ、18歳の時に酒造家伊能家の婿養子となる。彼が伊能家に来た時、家業は衰え危機的な状態だった。忠敬は倅約を徹底すると共に、本業以外にも薪問屋を江戸に設けたり、米穀取り引きの仲買をして、約10年間で完全に経営を立て直した。1783年の天明の大飢饉では、私財をなげうって地域の窮民を救済する。

50歳を迎えた忠敬は、家業を長男に譲り、幼い頃から興味を持っていた天文学を本格的に勉強する為に江戸へでる。浅草には星を観測して暦(こよみ)を作る天文暦局があったからである。

※人生50年と言われていたこの時代、隠居後は盆栽を育てたり孫と遊んだり、のんびり余生を送るものだけど、50歳から“勉強の為に”江戸に向かう知識欲、知的好奇心の大きさに、「伊能忠敬」の人となりが見られる。

「伊能忠敬」の測量方法について

下図の測量器具を用いて測量したが、距離の測定は、下図の量程車を考案したが凹凸による誤差が大きい為、殆ど使用されず、数人が歩いて歩数の平均値を出し、距離を計算するという大変な作業を行っている。その他、方位・角度を測定する下図の①③⑤の器具を使用している。伊能忠敬の測量の特徴は、地球は丸いことを考慮しているところである。昼は測量、夜は宿で天体観測を下図②の大・中象限儀を用いて、緯度の観測を行い昼の測量の誤差を修正する作業を行う。この時に使用していたのが、下図⑦の机である。

季刊誌「淡路さわやか県土」は、淡路島で行っている土木事業やまちづくりを広く一般に知ってもらおうと、淡路県民局洲本土木事務所の若手メンバーが中心となり、編集・発行しています。

『歴史とロマンと神話の島』を舞台にした皆さんの地元を探訪し、島の原風景や豊かな自然、生き物、慣習、近代遺産などの様々な風土資産の紹介も交えて、土木事業やまちづくりをお伝えします。

編集にあたっては、地域の皆さんの情報も数多く取り入れながら発行して参りたいと考えておりますので、どうぞご協力をお願い致します。

ある。象限儀を用いての緯度の測定方法は、六分儀と同じ理論で、水平線と北極星の角度を測る方法である。北極星は地軸の南極と北極を貫いた線上に存在する星で、地球からは動かない星に見える。水平線と北極星の角度は、赤道で0度、北極で90度となります。現在はGPS衛星から発信する電波を受信することで位置を知るのに対して、天体観測で伊能忠敬は緯度を計測し地球での位置を知る。

伊能忠敬が日本沿岸を中心に測量したのは、水辺線が見え緯度を測るためであったのかも知れません。「伊能忠敬」の測量精度の高さを示すものとして、地球の外周を、江戸深川から野辺地(のへじ現在青森県下北半島)に至る測量により、緯度1度に相当する子午線弧長がおおよそ28里2分(110.7Km)に相当するとし、(110.7×360°=39,852Km)地球全体の外周がおおよそ4万Kmであると推測していることから伺える。(現在、地球外周約4万Kmとしている)

「伊能忠敬」は、第1次測量～第10次測量までに歩いた距離は実に4万キロ、地球を一周したことになる。下図の伊能図は、1808年に行った第6次測量の時のものである。

伊能忠敬測量隊が使用した主な測量器具及び、それに該当する現在の測量器具

① 杖先羅鍼(つえさきらしん)
杖先に取り付けた磁石が常に水平をたもつように工夫しており、曲がり角に立てて方位を測った。

② 中象限儀(ちゅうしょうげんぎ)
天体の高度を測る器具。目盛りがついた四半円にそって望遠鏡が回転する。これで観測地点の緯度を算出した。

③ 小象限儀(しょうしょうげんぎ)
小方位盤ともいう。象限儀は、大・中・小と3種類あるが、小型は土地の傾斜を計測するために使った。

④ 携帯用組立机(けいたいようくみたてつくえ)
測量旅行に際して、携帯に便利よう考案された机で当時の宿舎にはきちんとした机がなかったことがうかがえる。

⑤ 半円方位盤(はんえんほういばん)
運搬しやすいように半円形にした方位測定器具。三脚台の上に水平に置き、山頂や島などの方位を測った。

⑥ 量程車(りょうていしゃ)
車輪を回転させて、その回転数で距離を測る器具。砂浜や凹凸道では誤差が大きく、ほとんど使用されなかった。

現在の測量器具

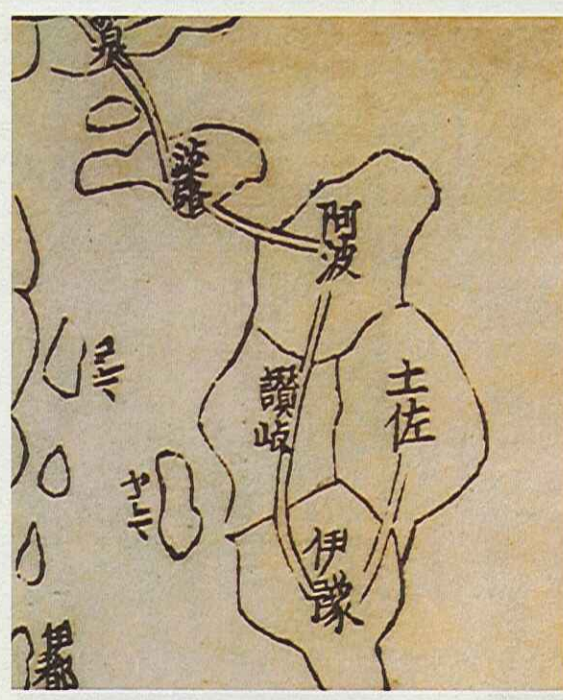
⑥に相当 ホイールメジャー

①③⑤に相当 コンパストラシット

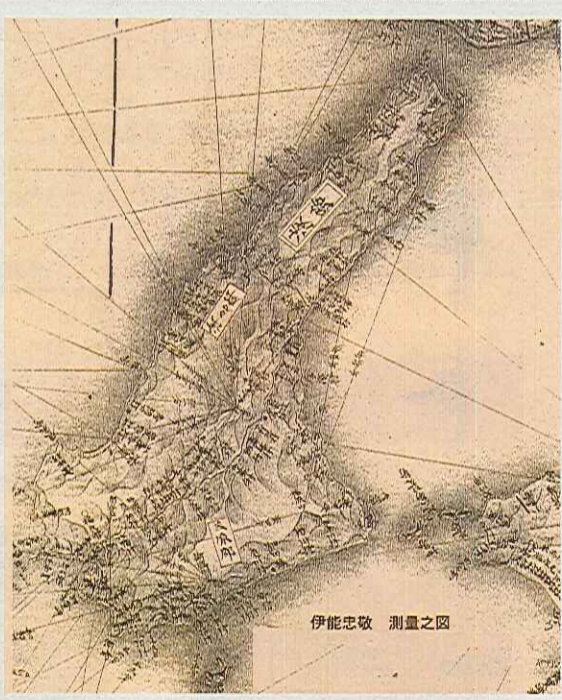
②に相当 セオドライト

(トランシットの最近の呼び名)

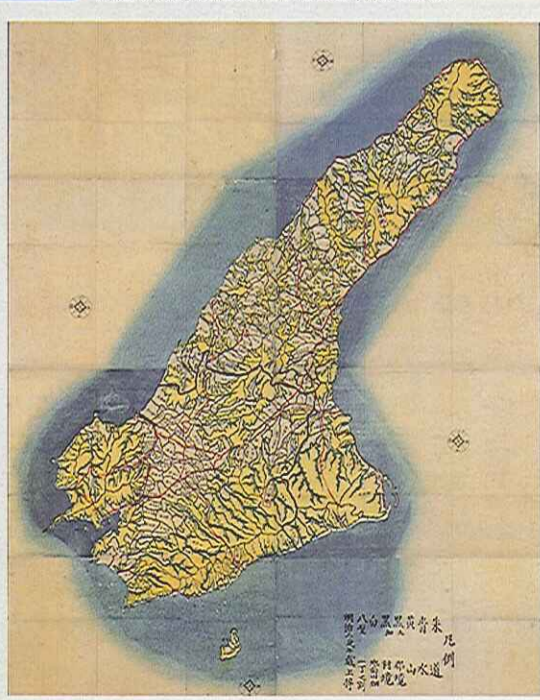
行基図 実体が確認出来る日本最初の全国地図は、奈良時代の僧侶・行基が作ったとされるが、位置関係は把握出来るものの正確さには欠けている。



伊能図 伊能忠敬は、日本沿岸を主に測量して、日本の形を正確に表した。その測量法は、基本的には現在の考え方に近い理にかなった方法である。地球は球面であることを考慮し昼間測量したデータを、夜の天体観測で緯度等を測定し正確な位置に補正しているのが特徴である。



淡路国 全国 (岡崎三蔵作) 徳島藩が1802年から40年以上にわたって、藩領(阿波・淡路)の測量事業が実施されていた。測量手法は、伊能忠敬の測量手法とほぼ同じであるが、山地・平地を色分けしてあるため、土地の標高表示をすると同時に土地利用図の役割を果たしているのが特徴である。



福良港津波防災ステーション防災学習塾(感じる、知る、逃げる、備える、体験する)

小学生のみんな！
僕といっしょに勉強
しよう！



防災学習室の概要

いつ襲ってくるかもしれない津波の被害に
あわないためにみんなで学びましょう。



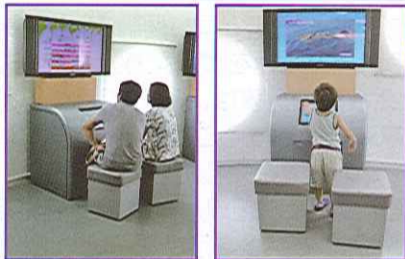
福良港津波防災ステーションでは、子供たちに、津波に対する防災意識を継承するため、より多くの小学生を受け入れ、津波防災学習をしていただくと考えております。

津波を知り、備え、逃げることを一体的に理解していただき、それぞれの学区の津波防災に役立てていただけるプログラムを開発していきます。どうか、学校・学級単位でのご見学と学習をお待ちしております。

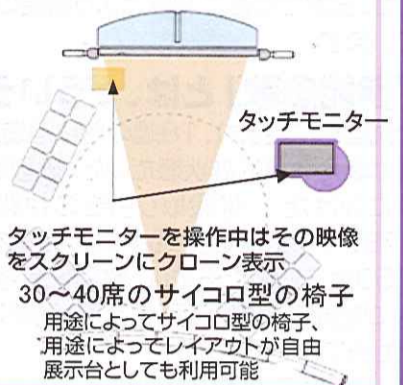
逃げる時の必需品の展示・タッチパネル方式映像



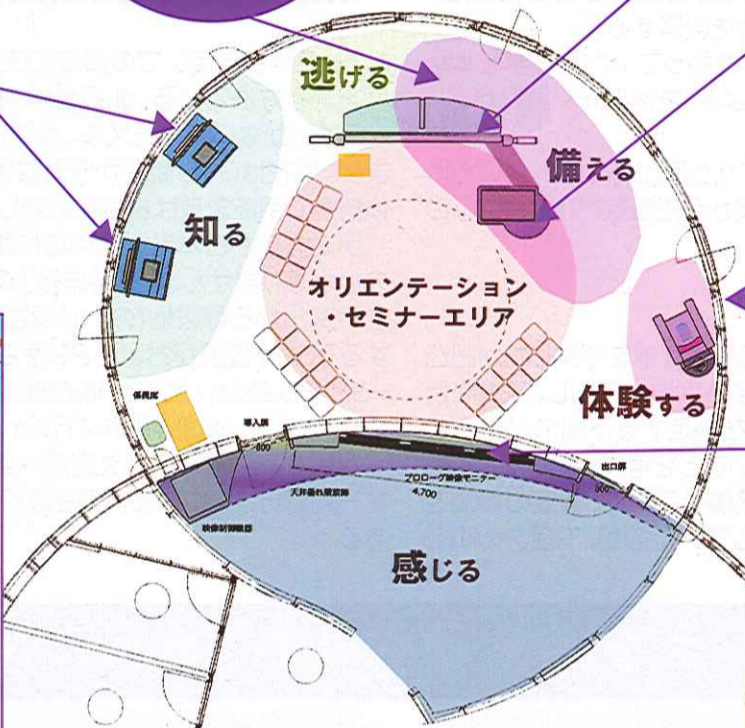
タッチパネル方式映像



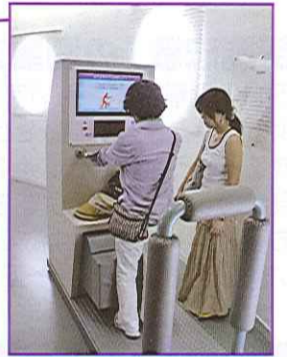
タッチパネル方式映像・大型スクリーン表示



主な津波防災学習施設



津波が襲う力を体験出来るコーナー



3面マルチスクリーン



体験する 津波発生!あなたは大丈夫?
さまざまな問題に決断を下し、津波から逃げるシミュレーションゲームや、水が襲う力を体験出来ます。



津波に対する防災活動は、地域が中心となったネットワークづくりから始まります。特に高齢者の皆様が地域が守るという姿勢を持って、地域の皆様が主体となって作り上げていくことが大切であると考えます。福良港津波防災ステーションはA地域の方々の防災活動の拠点として、地域の皆様に施設を開放いたします。このような活動は、今後徐々に進めていき、地域の皆様の手で、地域ネットワークができることを期待しております。どうか、地域の振興に関わる団体の皆様のご利用をお待ちしております。

感じる 津波は怖い
プロローグシアターでは、過去に起きた津波被害の実態や津波の恐さをケンタくんと、ケンタくんのパパ・コウイチが紹介します。

知る 津波って何?どうして起こるの?
津波を学ぶことの大切さや学習室での学び方を解説。津波の発生から破壊力までを6つの映像で学習し、津波とは何かを知っていただけます。

逃げる 津波からどうやって逃げるの?
子供から大人まで、津波から安全に逃げるために3つの映像でまなびます。

備える 福良港の被害を減らす取り組み
福良港での津波防災の取り組みやシミュレーションを解説するコーナーです。津波が起きたときに心がけておきたいことを学べます。

福良港津波防災ステーションの見学及び学習のお問い合わせについて
連絡先:0799-50-2381 開館時間:10:00~16:00
休館日:毎週月曜日及び 12/29~1/3
(※月曜日が祝日の場合は、翌火曜日が休館)
開館時間内であれば誰でも自由に見学できますが、学校・学級等の団体に津波防災学習として来られる時は、申し込み予約をお願いします。
申し込み方法については、左記連絡先に電話されるか、インターネットを利用される方は、「福良港津波防災ステーション」で検索して頂くと、予約方法・防災学習室の内容を確認出来ます。
インターネット URL:http://www.tsunami-bousai.com/

淡路島一周自転車イベント「淡路島ロングライド150」開催される。

- 参加者
 - 申込者数1,751人(第1回目のロングライドとしては、最高水準の申込者数とのことです。)
 - 出走者数1,488人
遠方参加者:北は秋田県、南は沖縄県
 - 完走者数1,365(完走率91.7% リタイヤ(123人)の理由は、ほとんどが疲労のため。)
 - ボランティア約12名(交通安全協会、リハビリ専門学校生他)
 - 事故:救急搬送5人(骨折3人、打撲2人)、他のロングライドでも接触等のためこの程度の事故は発生するとのことです。
- 地元歓迎
 - 各エイドステーション(AS)にて地元振る舞いを実施(県、淡路3市提供)
 - 洲本港AS:豚汁 ○灘AS:素麺
 - 慶野松原AS:ハン(福祉施設の障害者の手作り)
 - 多賀の浜AS:玉葱スープ
 - クイーン淡路、淡路県民局長、市長の励まし

「2010スポニチ淡路島ロングライド150(名誉会長:井戸知事、会長門淡路島市長会会長)」が、10月31日(日曜日)に開催されました。台風14号接近の影響で10月30日(土曜日)に予定していた前夜祭(地元歓迎行事)は中止となりましたが、参加者からは、「コースが変化に富みおもしろかった」、「地元の振る舞いなどエイドステーションが充実していた」、「スタッフやボランティアの数が多く対応も良かった」、「来年も是非参加したい」等の声が多く、午後には雨模様となりましたが、淡路島初のロングライド150は、今後も継続されるイベントとして定着し、島内外者に淡路島の良さを知ってもらう一つのきっかけになればと思います。(開催前日の台風による道路清掃等に当たられた洲本土木道路パト隊及び道路管理者の皆さんご苦労様でした。)

いざ出発...行きはよいよい帰りはしんどい...
この時には思わず



洲本港AS:クイーン淡路から手渡しで食べる豚汁はさぞうまかう。



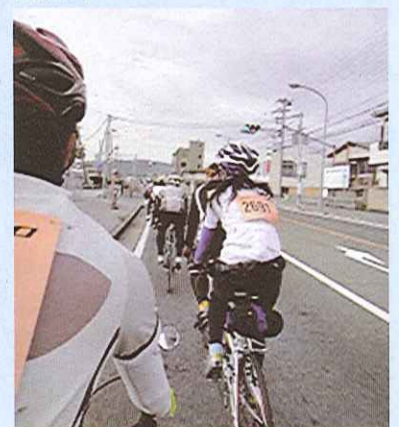
活躍するサポート車



灘AS:素麺を食べて一休み



後ろ髪をなびかせ、さっそうと走る女性ライダー!
カッコイイ



バスから始める公共交通！

～このままでは、あなたの地域で公共交通が無くなるかも～

ここ20年間で、バス・電車の利用者はピーク時の2～3割減少しており、このままでは公共交通がなくなってしまう地域も出てきます。地域の公共交通が無くなって良いのでしょうか？

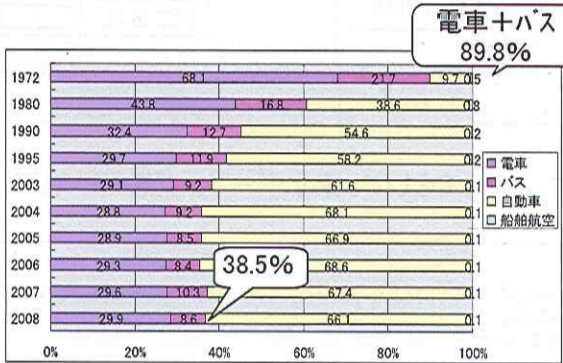
今、車を運転できる人は直接、すぐに影響はないのかも知れませんが、車を運転している人もいずれは例外なく、公共交通のお世話にならねばなりません。また、公共交通が無くなればお年寄りや免許のない人、学生等はすぐに不便な生活を強いられることとなります。

公共交通を多くの方が利用すると、渋滞緩和、CO2削減が期待できます。さらに、公共交通が活性化すると地域が便利になり、街に活力が生まれ、魅力向上にもつながります。

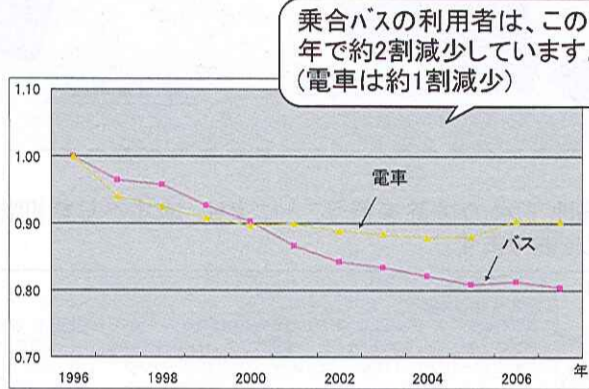
皆さん、少しずつお互いのことを考え、公共交通を利用することで、みんなの街、みんなの公共交通を守っていきましょう。

兵庫県の公共交通の現状

兵庫県の人の移動は、約40年前はバス、電車を合わせると約90%を占めていましたが自動車の普及により、近年では約40%にまで減っています。



「旅客地域流動調査」国土交通省



県下の乗合バス、電車の輸送状況(1996年を1とした指数)



はぼたん

季刊紙「淡路さわやか県土」は、淡路県民局洲本土木事務所で行っている事業やまちづくりを広く一般に知ってもらおうと、編集・発刊しています。洲本土木事務所が行っている事業やまちづくりを中心にお伝えしますが、淡路島の風土資産も交えて編集にあたってまいりたいと思っておりますので、地域の皆さんのご協力をお願い致します。

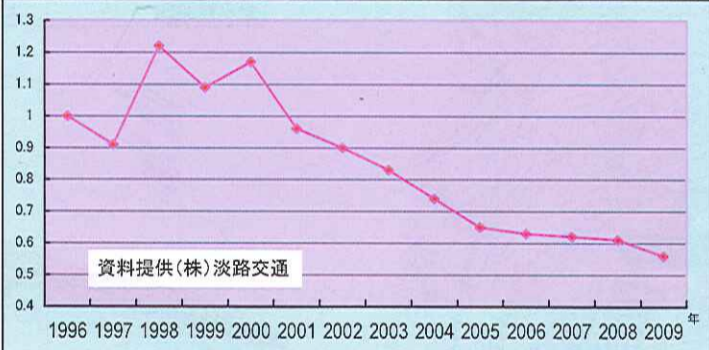


AWAJI ISLAND MAP

①～③は掲載記事

淡路島の乗合バスの現状

淡路島では、明石海峡大橋の開通(1998)や淡路花博(2000)により一時的に利用者が増えました。しかし2009年には1996年の6割にまで減少しており、県平均より遙かに早いスピードでバス離れが進んでいます。このままでは本当に島内の道を走る青と白の路線バスが無くなってしまいかもかもしれません。



淡路島の乗合バス(淡路交通)の輸送状況(1996年を1とした指数)

☆ 乗合バスにまず乗ってみましょう！

◇次回は、コミュニティバスなど新しい公共バスの仕組みやバス乗車のメリットについてご紹介します。◇

マップ① すもとぼし橋詰広場 3月18日オープン

洲本川の激甚災害対策特別緊急事業に伴い架け替え工事が行われた洲本橋の右岸旧道路敷に整備を進めている「すもとぼし橋詰広場」が完成し、3月18日にオープンします。広場には、洲本川を眺めることができる木製デッキ、塩屋橋(大正7年完成)の橋脚の基礎がモニュメントとして展示されているほか、洲本川の改修や洲本橋・塩屋橋の架け替えの歴史などを紹介するパネルが設置されています。また、旧洲本橋の撤去工事も1月に終わっており、洲本橋架け替え関連の工事は全て完了しました。

川とのふれあいゾーン
洲本川の流れを眺めることができるフラットなウッドデッキ。春にはオオシマザクラが咲きます。

全体計画
旧洲本橋へ取り付いていた旧道路敷を活用して川を感じる豊かな憩いのスペースの創出と隣接する歩道空間に広がりを持たせることをコンセプトとしています。広場は、大きく2つのエリアとなっており、フラットな3段のデッキエリアと歩道と同じ勾配のエリアに分けて整備しています。

交流ゾーン
地域住民の交流、道路利用者の休憩の場です。中央部には、シンボルツリーのヤマボウシを植えています。

歴史ゾーン
洲本川の浚渫工事により撤去した大正7年完成の塩屋橋の橋脚基礎を展示しています。塩屋橋・洲本橋の架け替えの歴史に触れることができます。

わかりやすい水位標
洲本橋の橋脚に設置している水位標。水位標の説明版が設置されています。住民の方が洪水の危険レベルをわかりやすく確認できるように設置しました。

旧洲本橋の親柱
平成16年の台風23号の豪雨による被害状況や洲本川河川激甚災害特別緊急事業について紹介しています。

塩屋橋モニュメント
大正7年に建造された塩屋橋の橋脚(※橋は水管橋(昭和初期完成))

塩屋橋・橋脚撤去箇所
大正時代につくられた塩屋橋橋脚をそのままの形で展示しています。

塩屋橋親柱
洲本市立淡路文化史料館に保存・展示されていたものを移設しました。

園名版
橋詰広場

